

日本企業とのビジネスに寄せられる 高い期待（リトアニア） - 視察ミッション報告 -

コペンハーゲン事務所

ジェトロは、9月10日・11日に在欧州日系企業8社9名などから成る「リトアニア繊維産業視察ミッション」を派遣し、工場訪問、セミナー・商談会の参加、展示会視察、などをリトアニアで実施した。以下にその概要を報告する。

1. 実施日

2002年9月10日・11日

2. 目的

EU加盟交渉が進む中、リトアニアでは加盟に向けたビジネス環境の整備が進んでいる。工場訪問、展示会視察、セミナーなどを通じて、リトアニアの繊維産業の最新動向を把握するとともに、商談会、個別ミーティングなどを通じて、ビジネスシーズを発掘する。

3. 企業訪問の概要

(1) レリヤ (LELIJA) 社

設立：1947年

所在地：ヴィルニウス市

従業員数：3,000人

売上高：1,500万ドル

・年間300万着の男性、女性、子供用の衣服

を製造しており、婦人服、スーツ、ジャケット、コート、ズボン、スカート、ブラウス、シャツ、ドレスなど種類は多岐に及ぶ。デザイナーは、6人いる。ヴィルニウスを含め7カ所に生産工場を持ち、生産ライン数は全部で21ある。ドイツ製、イタリア製の機械を使用して縫製を行っている。

- ・製品の90%をドイツ、北欧、英国、米国などへ輸出しており、マークス・アンド・スペンサー、バートン・ストーン、C&A、シスター・アンド・ブラザー、ローラ・アシュレイなどが主な顧客となっている。
- ・主な競争相手は、中国、トルコ、インドなどで、価格的には勝てないため品質で競争したいと考えている。現状では、ドルが下がっており、輸出が伸びにくい状況にあり、工場の拡張は見送っている。
- ・卸売業者が、ドイツ、モスクワ、ウクライナにいる。また、同社独自の販売店網（国

内27店舗、ラトビア1店舗)をもっており、今後さらに増やしていく方針である。

- ・布地の調達には、英国・北歐向けのもは同社で調達しているが、ドイツ向けのもは顧客が調達した布地を縫製している。注文の最小単位は原則として500着であるが、小口注文にも対応できるよう徐々に投資をしている。

(2) アウデーヤス (AUDEJAS) 社

設立：1946年

所在地：ヴィルニウス市

従業員数：260人

売上高：1,425万ユーロ

ホームページアドレス：www.audejas.lt

- ・室内装飾品（ソファ、カーテン、椅子など）用布地の製造企業で、同種企業では東欧でもっとも古いリーディングカンパニーである。綿、ポリエステル、アクリル、麻などの素材で、ジャガード織、プリント柄、ピロードなどデザインの種類は1,500種に及び、年間300万mの生産能力がある。製造している布地の幅は最大で1.7mであるが、現在のところ、それ以上の幅のものは必要ないと考えている。12～15年前に丸紅の指導を受けて製造ラインをリニューアルした。デンマークのFIBERTEX社の下請けも行っている。
- ・綿糸は国内で調達しているが、他の原料はドイツ、ベルギー、イタリア、ロシアから輸入。
- ・製品の80%を世界32カ国へ輸出している。輸出単価は、平均3ドル/m程度。
- ・同社は、同国内に3つの布地販売店をもっているほか、8,000㎡規模の家具販売センターを運営している。
- ・同社の生地デザインは常に国際展示会でノミネートされている。2001年には、2種類の製品がノミネートされた。
- ・現在、製品の販売パートナーを探している。

また、縫製機械、原料の調達について、積極的に調達先を探し求めている。

(3) アー・グルー (A GRUPE) 社

設立：1990年

所在地：カウナス市近郊のヨナーヴァ市

従業員数：129人

売上高：78万ユーロ

ホームページアドレス：www.agrupe.lt

- ・麻、綿、羊毛製のホームテキスタイル製品（マッサージタオル、テーブルクロス、カーテン、バス・サウナ用品、毛布など）を製造している。同国は、麻の産地なので、麻製品が主力製品である。
- ・製品の70%をスウェーデン、英国、ドイツ、フィンランドなどへ輸出しており、自社ブランド以外の相手先ブランドで輸出している場合もある。
- ・現在、新たな輸出先の開拓に努めている。2002年の訪日時に参加したジェットロ主催の商談会に参加し、その結果、日本企業にサンプルを出した段階にある。
- ・(同席したヨナーヴァ市議会の代表者から) ヨナーヴァには、質の高い労働力があり、同社のような良い企業があるので、特に、軽工業分野に是非投資をしてほしい。

(4) オムニテクサス (OMNITEKSAS) 社

設立：1929年(SILVOS TRIKOTAZAS社として設立。2002年7月にテキスタイル部門を分離して、OMNITEKSAS社に社名変更。)

所在地：カウナス市

従業員数：400人

売上高：600万ユーロ

- ・婦人用スーツ、ニットウェア、ブラウス、下着、紳士用シャツ、ニットウェア、下着のほか、Tシャツ、タンクトップ、セーターなどを製造している。3万着/月、2万足/月を生産している。工員の平均賃金は、

250ユーロ/月である。

- ・ドイツ、北欧、英国などへ製品の35%を輸出している。
- ・毎年2種類の新作コレクションを出しており、バルト三国、ドイツ、北欧、ロシアで、独自ブランドで販売している。また、スキーウエアなどをノルウェーへ輸出しているほか、リトアニア軍ヘカモフラージュ服や下着を出している。
- ・現在、新たな輸出市場、ビジネスパートナー、外国企業の投資先を探している。日本企業とは、2002年の訪日時に参加したジェットロ主催の商談会に参加し、現在、コンタクト中の企業がある。

(5) アウディマス (AUDIMAS) 社

設 立 : 1936 年

所 在 地 : カウナス市

従業員数 : 560人

売 上 高 : 1,700万ユーロ

ホームページアドレス : www.audimas.com

- ・リトアニア最大のスポーツウエア製造企業で、スポーツスーツ、トレーニングスーツ、フィットネスウエアなどを、年間200万着製造している。イケア社の家具のカバーも製造している。ただし、スキーウエアは、中国で製造したものを輸入している。
- ・製品の80%をスウェーデン、ドイツ、オランダ、ノルウェーなどへ輸出しており、ナイキなどの有名スポーツメーカーにも納品している。独自ブランドは、バルト三国でのみ販売しており、国内に独自の販売店網ももっている。英国、フランス、南アフリカ向けにラグビーウエア、バスケットボールウエアも販売している。
- ・デザイン部門および自社倉庫を保有しており、注文に迅速に対応できる体制が整っている。
- ・原料の布地は、イケア社向け商品を除いて、自社のルートで調達している。

4 . セミナーの概要

(1) リトアニア開発庁輸出部長

(Mr. S. Brazinskas)

- ・バルト海沿岸地域は、人口1億1千万人規模であり、北欧・EUとロシア・東欧の架け橋として注目されている。
- ・リトアニアには、ヴィルニウス(54万人)、カウナス(38万人)、クライペダ(19万人)、シャウレイ(14万人)、パネヴィジーズ(12万人)の5大主要都市がある。
- ・経済成長率は、2001年5.9%、2002年5.2%(見込み)で他の中・東欧諸国と比べ高い。外国直接投資残高は約30億ドルで、デンマーク、スウェーデン、ドイツなどからの投資が上位を占める。業種別では、製造業、卸売業、金融の順となっている輸出は、石油精製品に次いで、繊維製品が有力輸出品となっている。
- ・既進出の外資系企業(シーメンス、イケア、ブラウン&シャープなど)は、良質な労働力、低インフレ率などの経済的安定、インフラ整備などを評価している。カウナスへ進出したフランスの多国籍繊維企業は、リトアニアと中国を比較して、コストは同程度でありながら、リスクが少なく、デリバリー時間が短いことを評価している。
- ・日本企業との関係では、矢崎総業がワイヤーハーネスの企業を子会社化しているほか、東芝が技術提携しているテレビ部品企業などがある。日本からの観光客も増加しており、2001年には5,000人以上の旅行者が訪れている。

(2) リトアニア繊維産業組合事務局長

(Mr. L. Lasiauskas)

- ・リトアニアの繊維産業は、工業全体の就労者数の約27%、輸出の20%を占める主要産業である。同国が大幅な貿易赤字となっている中で、数少ない貿易黒字品目となっ

いる。

- ・繊維産業の内訳は、テキスタイルおよびニットウェア（162社、22,265人）、縫製および毛皮（371社、31,575人）、皮革（41社、2,325人）となっており、就労者数は若干減少傾向にある。
- ・繊維製品の全生産量の約9割は輸出向けで、ドイツ、デンマーク、英国、スウェーデン、イタリアなどへ輸出している。日本向け輸出はまだ少額であるが、2001年は大幅に伸びた。

5 . バルチックテキスタイル/レザー展の視察

- ・バルト三国から西ロシア地域一帯で、繊維関係で最大の国際展示会で、91年より毎年9月にリトアニアの首都ヴィルニユスの展示

場（LITEXPO）で開催されている。主催は、リトアニア繊維産業組合（Lithuanian Apparel and Textile Industry Association）とドイツのメッセフランクフルトである。

- ・展示企業は、アパレル、テキスタイル、紡績系、繊維機械、皮革、毛皮などの繊維関係全般で、リトアニア企業のほか、ロシア、エストニア、ラトビア、ポーランド、ドイツ、イタリアなどの企業が出展している。2002年の展示会では、22カ国から約286社が出展し、32カ国から18,700人の訪問者があった。
- ・オープニングセレモニーにて、ブラザウスカス首相同席のもとリトアニア繊維産業組合会長より、本ミッション参加日本企業からの投資に強い期待が表明された。